

令和 8 年度 第 1 回 岡山支援学校 学校運営協議会 議事録

日時： 令和 8 年 6 月 5 日（金） 9：30～11：00

出席者：

- ・委員（14名中12名出席）
吉利会長 植田副会長 一守委員 柏原委員 桑本委員 高田委員 中村委員
西上委員 二島委員 塚前委員 本田委員 木村委員
- ・教職員（計13名出席）

1 開会

（1）あいさつ【校長】

本校は開校 65 年目を迎え、今年度は児童生徒 76 名でスタートした。施設の入退所等により児童生徒の動きが激しいのが本校の特徴である。医療的ケアが必要な生徒は 27 名おり、15 名の看護師を配置して対応している。今年度も「一歩ずつ、ともに」を合言葉に、子どもたちの笑顔溢れる学校作りを進め、コミュニティスクール 5 年目として地域との繋がりを深めていきたい。

（2）令和 8 年度学校運営協議会委員 任命

（3）自己紹介

2 本会の規則等確認【多賀】

本日の出席人数が過半数を超えていることから、本協議会の成立することを報告。

3 会長・副会長の選出

事務局案に基づき、以下の通り選出され、拍手により承認された。

- ・ **会長：** 吉利委員（岡山大学教授）
- ・ **副会長：** 植田委員（株式会社アーチファーム代表取締役）

4 議事

（1）令和 8 年度岡山県立岡山支援学校の経営方針について

・令和 7 年度学校評価アンケートの分析【多賀】

- ・ **成果：** ICT 活用に関する肯定的な評価が、保護者・教職員ともに 90%を超え、令和 6 年度から大きく向上した。また、SNS による情報発信の改善も高く評価された。
- ・ **課題：** 地域資源を生かした活動のさらなる周知、将来の姿を見据えた情報提供、ニーズに応じた福祉・医療サービス情報の提供が挙げられた。

・学校経営計画の説明【校長】

- ・ **ミッション：** 「自立と社会参加」「特別支援教育のスキル向上」「センター的役割の遂行」の 3 点。
- ・ **学校像：** 県内唯一の肢体不自由教育専門校として、旭川療育医療センターとの隣接という強みを生かし、専門性の高い、安全・安心な学校を目指す。
- ・ **3つの柱：**
 1. 個に応じた教育（ICT 活用、自立活動の充実）。

2. 自立と社会参加（地域連携、生涯学習、寄宿舎教育）。
3. 安全な教育環境（医療的ケア、健康支援）。

・寄宿舎教育の取組について【池本】

現在中・高生計5名が在舎。昨年度は「岡山インクルーシブアワード」でグランプリを獲得したバンド活動や、ボッチャ大会、農業体験等で地域と交流した。今年度は外部の方とのセッションやボランティア募集を強化し、豊かな暮らしのきっかけ作りを目指す。

・地域連携係の取組について【乗金】

植田委員による大豆栽培や、高島公民館の草木染め講座との連携事例を紹介。今年度も、本校の教育活動に協力いただける個人や団体の情報、ボランティア登録を求めている。

・生涯学習（文化芸術）の取組について【佐藤】

県の研究指定2年目として「文化芸術」に注力。視線入力やアプリ等を用いた「デジタルアートコンテスト」を開催し、8月には公民館や県庁で展示・一般投票を行う予定。2月には成果報告会を計画している。

・ICT活用推進に向けた取組について【梁井】

「一部の専門家だけでなく学校全体の標準化」を目指す。生成AIを活用した公務効率化（働き方改革）を推進し、子どもと向き合う時間を創出する。SNSでの動画発信や、外部事業所とのオンライン対戦、他校への巡回相談等のセンター的機能を強化する。

（2）グループ協議

協議題：「岡山支援学校の学校経営計画について」

● 1 グループ：

- 子どもが「自分もできる」という喜びを感じられることを基本にしてほしい。
- 自立活動の具体例や今年度の目玉となる取り組みを知りたい。
- 生成AI活用の具体例や、活用の際に留意している点について質問があった。
- 学校の取組を町内会等で紹介したり、チラシを配布したりして地域と連携してはどうか。
- 進路指導について、生徒一人一人の将来の可能性をどのように広げているのか、また進路指導を行う上で大切にしていることについて質問があった。
- 無理をせず、今ある資源（近隣施設や町内会でのPR協力等）を有効活用していくべきである。
- あらゆる教育活動において子どもを中心に考えることの大切さが確認され、自立活動をはじめとする様々な取組についても、子どもの思いや実態を大切にしながら進めていくことが重要であるとの意見が共有された。
- 「先生方が常に子どもを第一に考えて接してくださっていることに感謝している」「自分から表現することが難しい子どもの意図をくみ取ろうとする教員の姿勢が感じられる」といった意見があり、学校の取組への感謝の声が聞かれた。

● 2 グループ：

- 新任委員のために、過去のICT活用の実績を共有してほしい。
- 高齢者が多い公民館等では、二次元コード以外の周知方法（アナログな掲示等）も検討してほしい。
- 交流の際、事前に児童生徒の様子や特性を共有することで、より深い交流が可能になる。

- 生徒自身が SNS 発信を担うことは、将来のテレワーク等の就労支援にも繋がるのではないか。
- 寄宿舍の魅力を ICT で発信し、利用者を増やしてほしい。
- 公民館を地域への情報発信の場所として効果的に活用できるように互いに知恵を出し合いたい。
- 寄宿舍と WORLD-AC、旭川荘との交流もできるかも。
- クリオ（岡山障害者雇用企業研究会）を使ってください。
- デジタルアートの目標設定をして着地点をつくる。

● 3 グループ：

- 寄宿舍利用者の減少理由（障害の重篤化による夜間対応の難しさ、交通の便の向上等）について確認した。
- 生成 AI や NotebookLM を活用した校務効率化の現状について説明を受けた。
- ICT による個別最適化学習（iPad のフリック入力、音声読み上げ等）の具体例が紹介された。
- 小中学校への巡回相談など、センター的役割への期待が示された。
- 医療、福祉について情報不足とあったがどんなことが知りたいか。保護者向けの研修会（福祉サービス、医療について）をしてはどうか。
- 児童院等の入所の方とのコラボ。
- 野菜の生産→加工→販売ができると活動費になる。
- 新しい取組も大事だが、既存の取組をしっかりと重ねる事も大切。

（3）学校経営計画の承認決議

木村校長より、協議で出された意見（ICT 活用、自立活動の周知、情報発信の工夫等）を真摯に受け止め、今後の運営に反映させる旨の回答があった。その後、吉利会長が「令和 8 年度学校経営計画」の承認を諮ったところ、全委員の拍手をもって承認された。

5 連絡【多賀】

（1）岡山支援学校におけるいじめ問題に関する取組について

本校のいじめ防止基本方針や対策委員会、SC・SSW との連携体制について報告がなされた。

（2）文化祭の日程

令和 8 年 11 月 7 日（土）開催予定。恒例のファッションショーも実施されるため、来校を呼びかけた。

（3）今後の予定

アンケートに基づき日程を調整する。

6 閉会

あいさつ【副会長】

報道対応（中東問題の農業への影響に関する取材）のため遅参した。農業を通じて子どもたちが土に触れ、笑顔になる活動を今後も継続したい。本校の先進的な取り組みを評価しており、委員の皆様もそれぞれの立場で子どもたちのために力を貸してほしい。

閉会后、希望者に対して校内見学の実施。